

○八王子市長房ふれあい館条例

平成12年3月27日

条例第36号

改正 平成16年3月1日条例第1号 平成17年7月1日条例第29号

(設置)

第1条 コミュニティ活動を通じて、市民相互の親睦を図るとともに、高齢者の福祉の増進に寄与するため、八王子市長房ふれあい館（以下「ふれあい館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 ふれあい館の位置は、次のとおりとする。

八王子市長房町588番地

(事業)

第3条 ふれあい館は、次の事業を行う。

- (1) ふれあい館の施設の利用に関すること。
- (2) 高齢者の福祉に関する講習、講座等の開催に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認めた事業

(施設)

第4条 ふれあい館には、次の施設を設ける。

- (1) 集会室
- (2) 会議室
- (3) 和室
- (4) 娯楽室
- (5) 多目的室
- (6) 創作室
- (7) 浴室

(開館時間等)

第5条 ふれあい館の開館時間は、午前9時から午後9時30分までとする。ただし、市長は、特に必要があると認めたときは、これを変更することができる。

2 ふれあい館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、特に必要があると認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 毎月の第2月曜日及び第4月曜日（これらの日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日にあたるときは、その翌日）
- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで
(浴室を利用することができる者)

第6条 ふれあい館の施設のうち浴室を利用することができる者は次の者とし、浴室の使用料は無料とする。

- (1) 市内に居住する60歳以上の者
- (2) 前号に掲げる者のほか、市長が適当と認めた者
(利用承認等)

第7条 ふれあい館の施設（浴室を除く。次条において同じ。）を利用しようとする者は、市規則で定めるところにより申請し、市長の承認を受けなければならない。

- 2 市長は、前項の承認の際に、管理上必要な条件を付することができる。
- 3 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の承認をしないものとする。
 - (1) 営利を目的とするものと認めたとき。
 - (2) 秩序を乱すおそれがあると認めたとき。
 - (3) 管理上支障があると認めたとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が利用を不適当と認めたとき。
(利用料金等)

第8条 前条第1項の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者（第17条に規定する指定管理者をいう。以下この条から第10条までにおいて同じ。）に支払わなければならない。

- 2 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める。
- 3 利用料金は、利用の承認を受けた際に支払わなければならない。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。
- 5 第1項の規定にかかわらず、第6条各号に掲げる者が集会室1、集会室2、和室1、和室2、娛樂室及び多目的室3を利用する場合（午前9時から午後4時までの間に限る。）は、これらの施設の利用料は、無料とする。
(利用料金の減免)

第9条 指定管理者は、市長が定める基準に該当すると認めたときは、前条の利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第10条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、市長が定める基準に該当すると認めたときは、その額の全部又は一部を還付することができる。

(目的外利用等の禁止)

第11条 利用者は、その承認を受けた目的以外に施設を利用し、又はその利用する権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(施設の変更等の禁止)

第12条 利用者は、ふれあい館の施設に特別の設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、あらかじめ市長の承認を受けたときは、この限りでない。

(利用承認の取消し等)

第13条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、ふれあい館の施設の利用承認を取り消し、利用を制限し、又は利用の停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこれに基づく市規則に違反したとき。
- (2) 利用条件に違反したとき。
- (3) 災害その他の事故によりふれあい館の施設の利用ができなくなったとき。
- (4) 工事その他の都合により必要があるとき。

(原状回復義務)

第14条 利用者は、ふれあい館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。前条の規定により利用承認を取り消され、又は利用の停止を命ぜられたときも、同様とする。

(損害賠償義務)

第15条 ふれあい館の施設をき損し、又は滅失した者は、市長の定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長は、やむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(販売行為の禁止)

第16条 何人もふれあい館及びその敷地内においては、市長の許可を受けずに物品の販売その他これに類する行為をしてはならない。

(指定管理者による管理)

第17条 ふれあい館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の指定)

第18条 指定管理者の指定を受けようとする者は、申請書に事業計画書その他市規則で定める書類を添付して市長に提出しなければならない。

第19条 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査して最も適当であると認める者を選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定するものとする。

- (1) ふれあい館の設置の目的を効果的に達成することができるものであること。
- (2) ふれあい館の施設の適切な維持管理を図ることができるものであること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、ふれあい館の設置の目的を達成するために十分な能力を有し

ているものであること。

(指定管理者の指定の取消し等)

第20条 市長は、指定管理者が次の各号のいずれかに該当するときは、前条の規定による指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

- (1) 管理の業務又は経理の状況に関して市長がした指示に従わないとき。
- (2) 前条各号に掲げる基準を満たさなくなったと認めるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるとき。

2 前項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部（利用料金の収受を含む場合に限る。）の停止を命じた場合で、市長が臨時にふれあい館の管理を行うときに限り、新たに指定管理者を指定し、又は当該停止の期間が終了するまでの間、市長は、別表に定める額の範囲内において市長が定める使用料を徴収する。

3 前項の場合にあっては、第8条第1項及び第3項、第9条並びに第10条の規定を準用する。

(指定管理者の公表)

第21条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、その指定を取り消したとき、又は管理の業務の停止を命じたときは、遅滞なくその旨を公告しなければならない。

(指定管理者の業務)

第22条 市長は、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第3条各号に掲げる事業に関すること。
- (2) ふれあい館の施設の維持管理及び修繕（市長が指定する修繕を除く。）に関すること。
- (3) 第7条第1項の規定により利用承認をすること又は同条第3項の規定により利用承認をしないこと。
- (4) 第13条の規定により利用承認を取り消し、利用を制限し、又は利用の停止を命ずること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める業務

2 前項の規定により指定管理者が行う業務に要する経費については、予算の範囲内において支払うものとする。

(委任)

第23条 この条例の施行について必要な事項は、市規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において市規則で定める日から施行する。

(平成12年規則第57号で、平成12年6月1日から施行)

附 則 (平成16年3月1日条例第1号)

この条例は、平成１６年４月１日から施行する。

附 則（平成１７年７月１日条例第２９号）

- １ この条例は、公布の日から施行する。
- ２ この条例による改正前の八王子市長房ふれあい館条例第８条から第１０条まで、第１７条及び別表の規定は、平成１８年３月３１日までの間は、なおその効力を有する。

別表（第８条、第２０条関係）

種別	利用区分	金額（円）
集会室1	全日	1,900
集会室2	全日	1,900
会議室	全日	8,200
和室1	全日	1,900
和室2	全日	1,900
娯楽室	全日	5,000
多目的室1	全日	6,300
多目的室2	全日	6,900
多目的室3	全日	3,800
創作室	全日	3,200

備考 「全日」とは、午前９時から午後９時３０分までをいう。